

来年度「有料化・委託化」オンパレード

2014年11月29日(土)
日本共産党・板倉真也

「行革」一気に加速化

小金井市は「行革」を一気に加速化させようとしている。第3次行財政改革大綱の最終年度が来年度に迫るなか、積み残しを一つでも減らそうと、やっきになっている。
—— 2010年度～2015年度/財政効果「2億7,747万円」見込む

■集会施設4箇所を有料化

★12月市議会に有料化条例が提案されている。

10月下旬の利用者説明会での説明概要											
対象施設	婦人会館、上之原会館、前原町西之台会館、桜町上水会館のうち集会施設に該当する部屋が有料化の対象										
貸出区分	1時間単位										
使用料	1室1時間あたり100円～200円程度 (使用時間帯の前後の延長1時間あたりも同額)										
導入時期	2015年4月分の受付から										
使用料減免	<table border="1"> <tr> <td>(1)学校教育法に定める学校が児童・生徒の教育を目的として使用する時。 2分の1</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>(2)官公署が行政目的のため使用する時。 2分の1</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>(3)社会教育団体、社会福祉団体及びこれらに類する団体が市長が特に認めたものを使用する時。 10分の3</td> <td>978件</td> </tr> <tr> <td>(4)市が行政目的のため使用する時。 免除</td> <td>565件</td> </tr> <tr> <td>(5)その他、市長が特に認めた時。 2分の1 又は 免除</td> <td>69件</td> </tr> </table>	(1)学校教育法に定める学校が児童・生徒の教育を目的として使用する時。 2分の1	0件	(2)官公署が行政目的のため使用する時。 2分の1	4件	(3)社会教育団体、社会福祉団体及びこれらに類する団体が市長が特に認めたものを使用する時。 10分の3	978件	(4)市が行政目的のため使用する時。 免除	565件	(5)その他、市長が特に認めた時。 2分の1 又は 免除	69件
(1)学校教育法に定める学校が児童・生徒の教育を目的として使用する時。 2分の1	0件										
(2)官公署が行政目的のため使用する時。 2分の1	4件										
(3)社会教育団体、社会福祉団体及びこれらに類する団体が市長が特に認めたものを使用する時。 10分の3	978件										
(4)市が行政目的のため使用する時。 免除	565件										
(5)その他、市長が特に認めた時。 2分の1 又は 免除	69件										
利用申込み	利用日の3カ月前の日の属する月の10日から利用日の3日前まで										
その他	◎営利目的であっても利用可能。 ◎501円以上の参加費を徴収する場合は、利用料金を倍にする。 ◎利用する人は、市内でも市外でも可とする。その場合でも利用料金は同額とする。										

婦人会館	1967年8月開館
上之原会館	1983年8月開館
西之台会館	1987年3月開館
上水会館	1987年10月開館

萌え木ホール、マロンホール、前原暫定集会施設の合計件数

適用件数(昨年度)	0件	町会・自治会、老人会
	4件	
	978件	特定独立行政法人(NPO法人)
	565件	
	69件	シルバー人材センター 社会福祉協議会 体育協会

前原町西之台会館の利用料金			
集会室A	1時間 200円	和室1	夜のみ有料。1時間 100円
集会室B	1時間 100円	和室2	1時間 100円

★「婦人会館」「上之原会館」「上水会館」の各部屋も「1時間100円」

利用者説明会		
婦人会館	10月28日(火) 午後7時～8時30分	8人(男性2・女性6)
上之原会館	10月29日(水) 午後7時～8時45分	17人(男性8・女性9)
西之台会館	10月30日(木) 午後7時～8時25分	18人(男性8・女性10)
上水会館	11月4日(火) 午後7時～8時7分	7人(男性2・女性5)
合計		50人(男性20・女性30)

★有料化による年間収入は「200万円～300万円」とのこと。

無料を求める声が圧倒的。

なのに有料化を提案。

説明会では反対意見続出。

4集会施設で小金井市が実施した利用者アンケート結果
(今年7月11日～8月13日)

有料化に対する可否について	
無料で良い	66.8%
できれば無料の方が良い	25.3%
どちらでもよい	1.8%
有料でも良い(有料でもやむをえない)	5.3%
有料であるべき	0.8%

有料化した場合の利用意向	
有料なら利用しない	28.2%
少額なら利用したい	54.1%
有料でも利用したい	9.5%
未回答	8.2%

回答総数 379件

◎公民館の有料化も視野に入れている

集会施設4箇所の有料化に対する「利用者アンケート」(7月中旬～8月中旬)が行なわれている時期に開かれた市議行財政改革調査特別委員会で、生涯学習部長は「公民館の有料化については現在、他市の状況を調査中」と述べ、有料化も視野に入れての調査が行なわれていることがわかった。そのうえで「有料化を行なう場合には、公民館運営審議会に諮る必要がある」と述べている。



有料化対象集会施設の年間利用状況（2013年度）

婦人会館				
集会室 A	632件	⇒	会議等	938件
集会室 B	548件		集会・講演会等	2件
和室 1	328件		サークル活動等	752件
和室 2	255件		懇談会・懇親会等	44件
料理室	58件		民謡・詩吟等	1件
計	1,821件		料理等	54件
			その他	30件
			計	1,821件

前原町西之台会館				
集会室 A	583件	⇒	会議等	264件
集会室 B	525件		集会・講演会等	6件
和室 1	269件		サークル活動等	1,425件
和室 2	534件		懇談会・懇親会等	102件
計	1,911件		民謡・詩吟等	111件
				老人会・子供会等
			その他	0件
			計	1,911件

上之原会館				
集会室 A	738件	⇒	会議等	367件
集会室 B	709件		集会・講演会等	12件
集会室 C	703件		サークル活動等	2,522件
和室 1	337件		懇談会・懇親会等	94件
和室 2	609件		民謡・詩吟等	0件
計	3,096件		消費者スクール等	80件
			その他	21件
			計	3,096件

桜町上水会館				
集会室 A	633件	⇒	会議等	490件
集会室 B	616件		集会・講演会等	4件
和室 1	337件		サークル活動等	1,687件
和室 2	338件		懇談会・懇親会等	136件
和室 3	488件		民謡・詩吟等	83件
計	2,412件		老人会・子供会等	12件
			その他	0件
			計	2,412件

〔有料化の問題点〕

市が述べる有料化理由は「利用する人と利用しない人とで不公平感が生じる」というもの。しかし、集会施設は誰もが利用できるものであり、特定の人にだけ門戸を開いているものではない。利用者の多くは地域住民であり、地域社会のなかで日常生活を営んでいる人が多い。現在は利用してなくても、今後、利用する可能性があるのが集会施設。有料化は市民の活動の場を奪うものとなる。

■胃がん・肺がん検診を有料化

★有料化の条例提案は行なわない。内部手続きで有料扱いとする。

見直し案

- ◎胃がん検診 1,000円 ※すでに「乳ガン検診」は自己負担 2,000円となっている
- ◎肺がん検診 胸部レントゲン 500円、喀痰検査 500円
- ◎胃がん検診で「要精密検査」となった場合の受診・検査の自己負担額助成制度を廃止。健康保険の自己負担分(1～3割)を受診者に負担してもらう。
- ◎有料化で得た財源で検診車の活用期間を延長し、受診定員をそのぶん増やすとともに、胃がん検診と肺がん検診を同時に実施することにより、受診率が極端に低い肺がん検診の受診率向上を図る。

1972年度スタート		小金井市「健康増進計画」目標数値					
胃がん検診		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度
対象者数	35歳以上。	3万9,591人	3万9,802人	4万460人	4万985人	4万1,521人	
受診者数		1,697人	1,593人	1,566人	1,447人	1,517人	
決算額		712万7,000円	684万9,000円	704万4,000円	647万6,000円	1,181万6,000円	
受診率		4.3%	4.0%	3.9%	3.5%	3.7%	10%
要精密検査		157人	160人	182人	168人	185人	
がん発見数		3人	1人	4人	2人	2人	

1974年度スタート							
子宮がん検診		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度

対象者数	20歳以上。隔年実施。無料クーポン券交付	3万 979人	3万2, 449人	3万2, 738人	3万2, 937人	3万3, 127人	
受診者数		2, 782人	2, 979人	2, 600人	2, 682人	2, 708人	
決算額		2, 707万8, 000円	2, 782万6, 000円	2, 444万5, 000円	2, 516万円	2, 527万6, 000円	
受診率		15.0%	17.4%	16.5%	15.8%	15.8%	20%
要精密検査		20人	35人	26人	16人	49人	
がん発見数		0人	2人	1人	0人	1人	

1988年度スタート							
肺がん検診		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度
対象者数	40歳以上。	3万3, 693人	3万8, 490人	3万9, 133人	3万9, 800人	4万 442人	
受診者数		191人	192人	166人	204人	176人	
決算額		45万円	64万4, 000円	74万4, 000円	83万7, 000円	68万3, 000円	
受診率		0.6%	0.5%	0.4%	0.5%	0.4%	3%
要精密検査		13人	9人	2人	4人	8人	
がん発見数		0人	0人	0人	0人	0人	

1990年度スタート							
大腸がん検診		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度
対象者数	40歳以上。	3万8, 976人	3万6, 999人	3万7, 617人	3万8, 257人	3万8, 874人	
受診者数		5, 286人	5, 236人	5, 483人	5, 421人	5, 815人	
決算額		2, 228万4, 000円	2, 207万5, 000円	2, 312万1, 000円	2, 285万9, 000円	2, 450万1, 000円	
受診率		13.6%	14.2%	14.6%	14.2%	15.0%	20%
要精密検査		420人	438人	428人	402人	474人	
がん発見数		16人	15人	19人	26人	33人	

2004年度スタート							
乳がん検診		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度
対象者数	25歳～39歳。40歳以上は隔年実施。節目検診のみ無料クーポン券交付	2万 637人	2万2, 862人	2万3, 171人	2万3, 564人	2万3, 909人	
受診者数		2, 665人	2, 076人	2, 127人	2, 153人	2, 280人	
決算額		2, 476万8, 000円	2, 077万円	2, 138万6, 000円	2, 174万1, 000円	2, 244万3, 000円	
受診率		20.7%	20.2%	17.7%	17.8%	17.9%	25%
要精密検査		233人	181人	198人	317人	262人	
がん発見数		4人	7人	6人	10人	8人	

◎大腸がん、子宮がんも有料化の方向

市が示した方針では「今後、他市の動向及び有料化の導入による影響等を考慮し、検診車によるがん検診から段階的に有料化を実施する」と述べている。つまり、検診車でがん検診を行なっている「胃がん」「肺がん」を有料化し、他市の動向や「胃がん検診」「肺がん検診」有料化の影響を見極めたうえで、段階的に他のがん検診も有料化に移行するというもの。ちなみに、5つのがん検診全てを有料にしているのは三多摩で11市、乳がん検診のみ有料は小金井市を含めて10市。なお、有料化となっても小金井市の財政には入ってこない。検診を実施している医療機関にお金が支払われるため。

[有料化の問題点]

小金井市は医療給付費が増加していることを理由に、国保税を今年4月から大幅値上げした。医療費を抑えるためには早期発見・早期治療を行ない、病気の悪化にいたらないようにすることが必要。そうすることによって、高い医療費を要する事態を防ぐことができる。検診事業の有料化は受診抑制につながり、早期発見・早期治療に逆行する。

■学童保育所4箇所を委託化

★委託のための条例は提案されない。3月市議会に提案される新年度予算に委託費が組まれる。

学童保育所名	委託料の上限額	7事業者が応募
--------	---------	---------

あかね(第三小学校)	6,800万円 (同じ事業者へ委託する)	社会福祉法人	4
みどり(緑小学校)		NPO法人	2
さわらび(第四小学校)	3,050万円	株式会社	1
まえはら(前原小学校)	3,050万円		

他市で学童保育所を受託している事業者に見積額を出してもらい、その見積額をもとに委託料の上限額を算定した。

[スケジュール]

- ◎11月27日(木) 第1次選考 —— 応募7事業者を4事業者に絞る(3事業者が脱落)
 - ◎12月19日(金) 第2次選考 —— 4事業から学童保育所運営にあたっての考え方を聞く(公開の場で行なわれる)
 - ◎12月24日(水) 委託事業者決定 —— 3事業者が選ばれる
- ※事業者は原則5年間、受託可能となる

◎2017年度からは「ほんちょう(本町小学校)」「みなみ(南小学校)」を委託

今年の2月20日、小金井市と市の職員団体(自治労市職)が学童保育所の委託化で合意。2015年度から「あかね」「みどり」「さわらび」「まえはら」を委託、2017年度からは「ほんちょう」「みなみ」を委託するとされている。

[委託化の問題点]

目的は「人件費削減」。働く人の4割が非正規雇用、若者の6割が年収200万円以下の貧困層にされているなか、事業者が限られた委託費のなかで利益をあげるには、人件費を切りぢめるしかない。さらなる貧困層をつくりだすことになる。低い給料のために職員が長続きせず、現場では職員の入れ代わりが激しくなる。子どもたちにとっても不幸。

■東センター(図書館、公民館を併設)を委託化

★委託のための条例は提案されない。3月市議会に提案される新年度予算に委託費が組まれる。

[市の方針] 今年4月開設の北町地域センター(図書館、公民館を併設)を受託しているNPO法人に委託を予定。このNPO法人は北町地域センターを委託化させるために、小金井市が「公民連携、市民協同」の観点でつくった団体。市長は11月6日の厚生文教委員会で「官製NPOと言われても仕方ない」と述べるとともに、緑センターの委託化も今後、念頭に入れていることを明らかにした。

名称は「市民の図書館・公民館こがねい」

[参考] 貫井北町地域センターの委託費(2014年度予算)

運営委託料 5,861万2,000円……公民館の部屋の利用受付業務、図書館の本の貸出・整理業務、公民館企画事業など。委託先/NPO法人「市民の図書館・公民館こがねい」
 管理運営委託料 2,449万3,000円……公民館の電話対応業務、備品貸出業務、案内業務、センターの管理業務。委託先/シルバー人材センター

一方で駅南口のさらなる開発

■「南口第2地区再開発の賛否を問う住民投票条例の制定を求める」議案を1票差で否決

10月30日(木)未明に採決			
賛成11	日本共産党	反対12	自民党
	森戸、板倉、関根、水上		露口、中根、遠藤、中山、湯沢
	みんなの党		公明党
	渡辺、百瀬		宮下、紀、小林、渡辺
	生活者ネット		民主党
田頭、林	鈴木、岸田		
その他	改革連合		
齋藤、片山、白井	五十嵐		

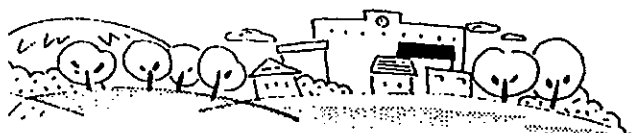
[今後のスケジュール(予定)]

- ◎2016年度 国が事業認可、工事着工(建物除去、土地整備)
- ↳ 工事実施(区域内道路整備、ビル建設)
- ◎2019年度 工事完了・完成

補助金予定額	
国	30億円
東京都	15億円
小金井市	15億円

◎12月議会の補正予算で補助金が組まれた

★武蔵小金井駅南口第2地区再開発事業補助金 1億3,840万円



国	6,920万円
東京都	3,460万円
小金井市	3,460万円

